

1. 授業の目的と概要

本授業では学部標準レベルのマクロ経済学を講義する。具体的には、GDP・物価・利子率・失業率など一国全体の集計的変数が短期・長期それぞれにおいてどのように決定されるかを学ぶ。

2. 学習の到達目標

- ・ 一国全体の経済がどのように動いているのかを直観的に理解する。
- ・ 短期・長期におけるマクロ経済変数の決定要因を理解する。
- ・ 財政・金融政策の効果を理解する
- ・ さらに、今後の学習や資格試験対策の基礎としてほしい。

3. 授業の内容・方法と進度予定

テキストに従って講義するが、一部の発展的な章はスキップする。また、日本語版テキストはやや古い原著第1版を元に行っているため、適宜原著最新版の内容を補足する予定。

- ・ マクロ経済変数の概説
- ・ 財市場と金融市場 (IS-LM モデル)
- ・ 労働市場の導入 (AD-AS モデル)
- ・ 資本蓄積と技術進歩の導入 (新古典派成長モデル)
- ・ マクロ経済政策

4. 成績評価方法

期末試験による。但し、状況に応じて中間テスト・宿題を課す事がある(授業中にアナウンスをします)。

5. 教科書と参考書

オリヴィエ・ブランシャール著(鴫田他訳)

「ブランシャール マクロ経済学 上」「ブランシャール マクロ経済学 下」東洋経済

6. 予習と復習について

授業前にテキスト該当章を読んでくること、限られた時間中の講義を理解する上で効果的です。授業後は配付資料・ノートの復習を通じて、理解を確実にしたい。テキストの章末練習問題にチャレンジするのも有益です。

7. その他(使用言語、履修の条件、連絡先、オフィスアワー等)

- ・ 履修の条件： 経済学入門Bを履修済みであることが望ましい
- ・ オフィスアワー： 授業中に指定します。
- ・ 連絡先： ホームページ <http://econ.jpn.org/horii/> を参照のこと
- ・ 使用言語： 主に日本語、一部の資料は英語。試験・宿題の回答は日本語・英語とも可。

